

この資料は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、大会の開始に先立って、出場する各チームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって、出場するチームの選手はもとよりコーチも、この文章を事前に読んで理解をし、大会当日に持参して下さい。本大会は JCA 競技規則 2018.11 を適用しますが開催要項を優先する項目もあります。

なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。

本大会は無観客で行います。ご家族・友人など大変残念なことですが趣旨をご理解の上ご協力よろしくお願いいたします。

# 2020 札幌地区代表選考会（男子）

## チームミーティング資料 (審判長事前通知)

どうぎんカーリングスタジアム

2020年11月21日～23日

大会審判長 上 口 愛

### カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

はじめに

本大会は、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分実施した中での開催となります。選手各位においても JCA 通知、どうぎんカーリングスタジアム利用などのガイドラインを十分把握し、予防対策を行った上で大会に参加されますようお願いいたします。

## 1. 競技方法

(1) 本大会は出場 16 チームを4ブロックに区分したリーグ戦とその結果に基づくトーナメント戦を行い、道央ブロックカーリング選手権への出場5チームを選定する。

(2) リーグ戦及びトーナメント戦はつぎのとおり。

①2020年リーグ戦(1期)の最終順位により序列上位4チームによるリーグ戦(Aブロック)を行う。この4チームによる序列を決定し1位及び2位の2チームを代表決定とする。

Aブロック3位のチームは代表決定トーナメント戦へ出場する。4位はワイルドカード戦へ進む。

②それ以外の12チームはB, C, Dの各ブロック4チームずつに割り振りリーグ戦を行う。この12チームによる序列を決定し1位から6位までが代表決定トーナメント戦へ進む。7位はワイルドカード戦へ進む。

③代表決定トーナメント戦はワイルドカード戦に勝利した1チームを加え8チームにより3つの代表を決定する。

④全試合、最終エンドで同点の場合はサドンデスのエキストラエンドを行い勝敗を決定させる。

(3) 試合の長さ

①リーグ戦及びワイルドカード戦は6エンドとする。

②代表決定トーナメント戦は8エンドとし少なくとも6エンドプレーすること。(競技規則C6(b))

## 2. 順位の決定方法

順位決定(序列)は、勝ち数の多い順とし、勝敗が同じな場合はDSCの短い順に順位を決定する。(競技規則C9(b)(i)及び(iv)を適用する)

## 3. ストーンの割り当て

先練習(赤色のハンドル)、後練習(黄色のハンドル)はコイントスなどで決める。

## 4. ラストストーンの扱い(1エンド目の後攻)

(1) 試合前練習後にLSDを行い、LSDの短いチームが1エンド目の先攻後攻を選択する。どちらのチームもハウスに入らなかった場合はコイントス、あるいは入ったが同距離の場合は、個々の数値を比較し最も短い数値のあるチームが選択し、全く同数の場合はコイントスをして決定する。

(2) ラストストーンドロウ(LSD)【競技規則C8(b)(c)(d)】

① 試合前練習後、ストーンを2投それぞれ異なるプレイヤーが時計回りと反時計回

りの回転で投球する。

- ② 各プレーヤーは最低投球回数を満たさなければならない。  
最低投球数1投、時計回り・反時計回り何れか1投。
- ③ 最低投球回数の要件を満たさない違反があった場合、相当するLSDは185.4cmと記録する。
- ④ DSCはブロック毎に投球されたLSDの平均距離である。

## 5. 試合前練習

予選の開始前に、各チームにはゲームストーンのみを使った5分間の練習が許可される。練習に関する指示は審判長が行なう。

最初の練習は試合開始**20分前**から赤色のストーンのチームが行い、終わり次第黄色のストーンのチームの練習が開始される。

それぞれのチームは練習終了後に直ちにLSDを行う。LSDは審判の指示により1分以内で行う。

残りの時間はアイスの準備のために使われる。

## 6. プレーエリアに入る際のユニフォーム・靴

**JCA競技規則C3によることを原則とするが困難な場合はカーリングにふさわしい服装での競技を認めます。(選考会開催要項)**

**シーズンは適切な服装とは認められないことに注意いただきたい。**

選手・コーチ・チーム関係者がプレーエリアで履く靴はきれいであるなければならない。そうでない場合、プレーエリアに入ることは許可されない。

## 7. 試合スケジュール

事前にチーム代表者へ配布されている。変更があればチーム代表者に通知を行なう。記載されている試合に関する時間は試合開始時間である。

## 8. 計時

全ての試合はシンキングタイム制で行う。

**6エンドの試合は23分、8エンドの試合は30分のシンキングタイムとする。エキストラエンドは4分30秒ずつ持ち時間を与える。**

**エンド間のブレイクタイムは1分である。準決勝以降の8エンドの試合ではハーフタイム5分間及びチームタイムアウト(1回)2分30秒(コーチの移動時間を含む)を与える。エキストラエンドにおいてもタイムアウトは1回与える。**

**計時審判はチームに割り当てたので確認のうえ当たって下さい。タイムの修正は計時統括審判の指示の下に行ってください。**

## 9. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけない。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行なう。

- (1) アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は計時を止め確認を行なう
- (2) 審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」ものだったかどうかを決定する。
- (3) もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スウィープの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する。
- (4) ダメージがなければ何も行なわない。ダメージがあれば修復する。

**手 順: 【競技規則 R10(a)】**

- (i) チームミーティングでの警告、手順の説明
- (ii) 1回目 = 最初の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iii) 2回目 = 2回目の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iv) 3回目 = アイスの修復、選手のゲームからの退場

## 10. ラインナップカード

オリジナルラインナップカードは受付時に審判長又は事務局に提出して下さい。

オリジナルラインナップカードに記載された投球順やポジションに**変更がある場合は、試合前練習開始 20 分前**までに変更用ラインナップカードを大会本部に提出すること。

プレー中の選手交代は、審判へ申告してください。コーチ又は選手は試合終了後変更のラインナップカードを提出してください。

## 11. 計測【競技規則 R11(d)】

**全ての計測は審判が行なう。** エンドの終了時に計測の要求があった場合は、選手は関係しない全てのストーンを取り除き、ホッグラインかハックの後ろまで離れて審判のために場所を空けなければならない。計測の時にハウスを任されていた者は、計測に立ち会っても良いが、計測に影響を及ぼさず、計測を妨げない位置にいなければならない。審判は計測後ストーンを動かさず、一番近いストーンを指示する。いずれかのチームは、再計測の要求をする権利を有する。

## 12. 選手の位置【競技規則 R4】

投球動作中は、投球していない側のチームの選手はサイドライン沿いのコーテシーライン間の位置で静止していなければならない。ただし、次の投球を行なう選手は、投球する側のハックの後ろのシートの端の位置に静止していても良い。

投球していない側のチームのスキップまたはバイススキップは、プレー側のバックラインより後ろの位置に静止していても良いが、投球している側のチームのスキップまたはバイススキップの立ち位置を妨害しないこと。**密を避けるため出来るだけ（廊下側）E シート側の位置で静止するように努めて下さい。**

## 13. ホッグライン

本大会はホッグラインセンサーを使用しません。

#### 14. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレイヤーは速やかにボードに掲示してください。試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをしなければならないが、その際にその試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがないか確認してサインすること。

#### 15. 不当な行為

出場する選手及びコーチは他のカーラーの見本となるべきである。

勝敗やショットの成否によって感情が表に出ること自体は、至極自然な事ではあるが、「氷をブラシでたたく」などの行為は、決して認められるものではありません。

そういった行為の制限について、本通知事項を1回目の注意とします。

試合中に同様の行為があった場合は、即座に審判員が直接注意を行います。

不当な行為・不快もしくは攻撃的な言動・用具の悪用や選手、コーチや大会関係者への意図的な攻撃は禁止される。違反行為に対しては、退場処分が科せられる事がある。

#### 16. 喫煙

競技施設内は禁煙である。喫煙に関しては法律・公共のマナーを順守すること。

#### 17. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

#### 18. 整理整頓

競技領域は常に整理整頓しておき、ごみは全て持ち帰ることを原則とする。

#### 19. 報道

カーリングを行なうには報道機関の支援が必要である。したがって、全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められるが、何か問題がある場合は、審判長や副審判長に伝えること。

#### 20. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなします。

#### 21. 用具

チームが使用できるブラシヘッドは <http://www.worldcurling.org/brushes> からダウンロードできる “WCF Current Approved Product Codes” に記載されたものだけである。

(1) 各選手は試合開始時に、使用する承認済みスウィーピング用具を指定し、試合中

はその選手のみがその用具をスウィーピングに使用できる。違反した場合ストーンはプレーから取り除かれる（競技規則 C3 (e)）

(2) 選手は、審判長が特別に許可した場合を除き試合中にブラシヘッドを換えることができない。許可なく取り換えた場合、チームは不戦敗となる（競技規則 C3 (f)）

(3) 交替選手が試合に入る場合、入れ替わるプレイヤーが使っていたブラシヘッドを使用しなければならない。新たな用具が使われた場合、チームは不戦敗となる（競技規則 C3 (g)）

**(4) 審判長はブラシヘッドの確認について必要と判断した時、その都度行う。**

## 22. 基準に則っていない用具を使用した場合の罰則（競技規則 C3(i)）

JCAによって規定された競技用具の基準に則っていない用具を使用した場合の罰則は以下の通り。

(1) 大会中最初の違反をしたチーム - 対象となる選手は大会失格処分となりチームは当該試合を不戦敗とする。

(2) 大会中二回目の違反をしたチーム - チームは大会失格処分となり選手全員が今後12ヶ月間にわたりJCAの大会への出場が認められない。

## 23. その他

(1) JCA 競技規則と審判長通知事項の解釈に違いがある時は JCA 競技規則、大会要項を優先します。

(2) 審判長通知事項および競技規則に記載されていない事柄が発生した場合は、その都度審判長が対応します。

(3) プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間です。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更となる場合もありますのでご了承願います。

(4) 試合が進行されている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合がありますのでご了承願います。

(5) 審判員は配置しますが必要最低限の人数となっていますので、カーリングの基本であるセルフジャッジで試合を行ってください。

(6) 試合終了後、ストーンのハンドルを消毒してください。

(7) 各チームはLSDの記録について協力願います。

(8) 控え室（場所）はチーム毎としております。16チームで概ね80人の選手並びに大会関係者が狭い空間で過ごします。密集とならないように工夫は致しますが協力よろしく願います。（チームごとに控室を固定します）

②1 階多目的室 3チーム

③1 階及び2 階の窓側 13チーム

(9) 計時におけるカールタイムの操作練習については「<http://Curltime.com>」をダウンロードして下さい。または、札幌協会事務局の試合用パソコンにはダウンロードしてあります。

(10) 入館時間は初日が8:45分以降です。受付時の密集は避けるため、第1試合の出場チーム並びに計時審判を割り当てされたチーム以外は出来るだけ時間差を考慮して入館をお願いします。

(11) 退館時には控室の消毒(ソファ、窓側のサン、多目的室やホールは接触する場所)をお願いします。消毒剤や紙ナプキンは用意してありますので配布したゴミ袋に入れて大会事務局などの所定のゴミ箱に捨ててください。なお、個人のゴミは持ち帰るように願います。